

EA115MM-42 [7.6ℓハンドスプレー(アセトン対応)] 取扱説明書

Ver.1.3

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂く為にも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

●特長

- ・漏斗口開口部とスプラッシュガードを備えた7.6ℓの半透明タンク。
- ・高濃度のアセトンで使用できるアセトン耐性シールおよびガスケット付。
- ・固定された13GPMセラミックノズル採用。
- ・タンク内に目詰まり防止フィルター付

●仕様

- ・ポリエチレン製タンク
- ・ノズル…ポリ・セラミックス製
- ・タンク容量…7.6ℓ
- ・ノズル長…457mm
- ・ホース長…1200mm
- ・サイズ…φ120×300(H)mm
- ・重量…2.6kg

●各部名称

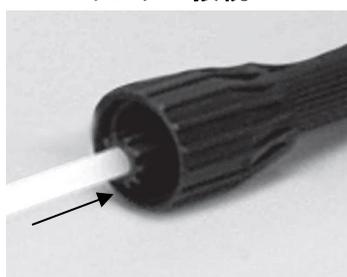


警告

- ・不適切な使用または指示に従わない場合、事故、怪我、故障を引き起こす可能性があります。
- ・この製品を安全に使用するには、すべての指示を読み、それに従ってください。
- ・暑い太陽の下で加圧噴霧器を放置しないで下さい。熱により圧力が上昇し、爆発する可能性があります。
- ・使用後、溶液をタンクに保管したり放置したりしないで下さい。
- ・スプレー時は、常に保護めがね、手袋、長袖シャツ、長ズボン、足カバーを着用して下さい。
- ・スプレーに圧力をかけたまま、ポンプを外さないで下さい。
- ・ポンプ作業時、ポンプ解除時などは、タンクの上に顔や体を置かないで下さい。
(ポンプや溶剤が顔にかかる危険があります。)
- ・取扱説明書の方法以外ではポンプを加圧しないで下さい。この噴霧器を改造しないで下さい。
- ・部品はメーカーの純正部品とのみ交換して下さい。
- ・アセトンは可燃性です。取扱には十分気を付けてください。
このアセトンは、訓練を受けた専門家のみを対象としています。
- ・小売業向けではありません。化学メーカーの指示を読み、従ってください。
- ・**本製品はアセトン専用です。アセトン以外の薬剤には使用しないでください。**

●使用方法

①ホースとタンクの接続



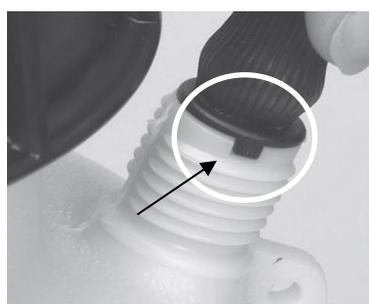
白いアウトレットチューブが
ホースに接続されているか
確認します。



チューブをタンクに挿入します。



白いアウトレットチューブの
適切な位置。



安全ロックコネクタのタブを、
タンクの出口フランジの
ノッチに合わせます。
タブをノッチに挿入して、
確実に接続します。



ホースナットを
タンクに滑り込ませ、
時計回りに回して、
できるだけきつく手で
締めます。

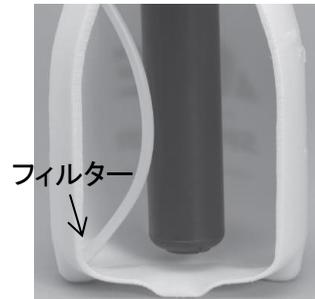
②ノズルの接続



ノズルをシャットオフハンドルまたは延長ワンドに取り付けます。

③フィルター

フィルターは、スプレー中の目詰まりを防ぎます。スプレータンク内のアウトレットチューブの端にあります。フィルターを清掃するには、排出アセンブリをタンクから取り外します。右図のように、フィルターがタンクの底に配置されていることを確認してください。ホースをフランジに着くまで差し込みます。



④使用前チェック

- 1) ホースナットの締め付けをチェックして、ホースがタンクに正しく取り付けられている事を確認します。
- 2) ホースの劣化、ひび割れ、損傷、または脆弱性を点検します。これらの状態のいずれかが見つかった場合は、使用前にホースを交換して下さい。メーカーの部品のみと交換して下さい。
- 3) ポンプを取り外し(充填加圧およびスプレーの手順を参照)、タンクの内部および外部を点検して、本体及び底部の劣化の兆候がないか確認します。劣化の兆候は、タンクが弱くなっている可能性がある事を示しており、圧力下で爆発的な破裂を引き起こす可能性があります。これらの兆候のいずれかが見つかった場合は、すぐにタンクを廃棄して交換して下さい。修繕しないで下さい。重大な傷害を引き起こす可能性があります。
- 4) 水のみを使用する以外は、充填、加圧、スプレーの指示に従って下さい。(プランジャーを10~20回ストロークして、漏れがないか検査します)。
- 5) ノズルが詰まっていないことを確認するために、離れた場所で直接シャットオフします。
- 6) テストが良好な時は、圧力を解放し(圧力解放手順を参照)、タンクを空にして、充填、加圧、およびスプレーの手順に進みます。
- 7) ワンド、ノズル、継手を含むすべての金属部品の錆、腐食、孔食を検査します。これらの条件のいずれかが見つかった場合、使用する前に、劣化した部品を交換して下さい。

⑤充填

※充填前に使用する液体の注意書きをよく読み、準備して下さい。

- 1) ポンプハンドルを反時計回りに回して外します。
- 2) 液体をタンクに入れて下さい。タンク外側の目盛り(L/GAL)以上に入れないで下さい。入れ過ぎると、適切なポンプ操作ができなくなります。
- 3) ポンプに汚れがついていない事を確認し、ポンプハンドルを戻し、しっかり締めます。

⑥加圧および噴霧



ハンドルを時計回りに回して締めます。ハンドルを押し下げ、1/4回反時計回りに回して解除します。



抵抗を感じるまでポンプする。



ハンドルを押し下げ、時計回りに1/4回転させてロックします。スプレーを開始し、圧力を維持するために、必要に応じてポンプします。

⑦圧力を解放する

- 1) ポンプが反対を向いた状態で、空気が抜けるまでロックされたハンドルを反時計回りに回します。
空気の漏れる音が聞こえたらハンドルを回さず止めて下さい。
- 2) すべての空気が抜けるまでポンプから離れて下さい。

⑧手入れ、保管、メンテナンス

- 1) 水のみでタンクをすすぎます。一度タンクを空にし、再び水を補充します。
充填、加圧、スプレーの指示に従って下さい。但し、ポンプユニットは8～10ストロークのみです。
使用後は、必ずwandとノズルを水で十分に洗い流して下さい。
- 2) シャットオフを開き、水が排出アセンブリを流れるようにします。
- 3) 圧力を解放し(圧力解放の指示に従って下さい)、ポンプを取り外し、タンクを空にします。
- 4) タンクを逆さまにして、ポンプを取り外した状態で、乾燥させて下さい。
- 5) カバーの開口部からポンプロッドに10～12滴の軽油を落とし、定期的にオイルポンプを作動させます。

⑨疲労のないスプレー方法

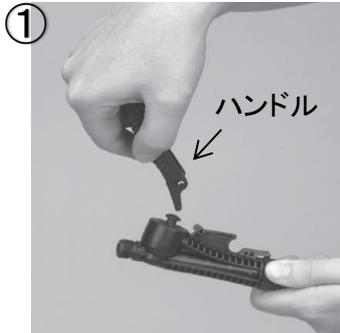
- ・一定のスプレーを行うには、シャットオフハンドルを押し下げて、灰色のロック機構を前に離します。(右図参照)
- ・リリースするには、ハンドルを握り、灰色のロック機構を手前に戻します。(右図参照)



⑩トラブルシューティング

 ・タンクは加圧されているがスプレーしない
警告: 不良診断する前にタンク内の圧力を解放します。

・シャットオフの清掃



ハンドルをサイドに開き
まっすぐ引き上げます。



ハンドルのグリップ裏側の
ノッチをプランジャー溝に
挿入し、反時計回りに
回します。



プランジャーとダイヤ
フラムを取り外します。
プランジャー、
ダイヤフラム、ボディを
きれいにし、
ダイヤフラムを裏返して
交換します。



シャットオフボディの上部に
揃うまでプランジャーを
時計回りに締めます。
締めすぎないで下さい。
ユニットがスプレーしない
ことがあります。
フォークをプランジャーの
下にスライドさせ、カチッと
所定の位置に収まるまで
ハンドルを押し下げます。



改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929

23.Aug.